

ちょっとひと言!!

市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



した。実際移動を考えた時、どの道を通って行こうか迷う時が多々あります。

また、交通量も多くないのにここにも道路を通す必要があるのか、道幅を拡げる必要があるのかと、疑問に思うところがあります。道路ではなく、教育や福祉に手厚いまちづくりを希望します。

(50代・女性)

●私は、生まれも育ちも40年間この行方市に住んでいる者でございます。日頃より、市長さんを始め議員さん、市の行政に係わる方、行方市のためにご尽力くださいます。ありがとうございます。今、行方市にとどまらず日本中で少子化、高齢化に伴い人口が減少しております。財政も大変厳しく市民のための施設も出来ないのが現状だと思います。

しかし、高速道路が通ることとなりましたので、ただの通過点にならないよう新たな行方市の魅力を伝えられるような企画を期待いたします。

(40代・男性)

●行方市では、若者の地元離れが多く見受けられます。小学校を見ても二十数年前の半分の児童の数になっていると思います。若者が地元を離れてしまうと、子どもたちも少なくなり、市の人口も減少していくばかりです。そうならないためにも、若者にとって魅力のある行方市になつてほしいと思います。

(30代・男性)

●行方市の道路についてですが、以前、行方市は他の自治体と比べ、道路延長が長いと聞きま

愛が深まり、地域密着へつながるのではないかと思います。

(30代・女性)

●私は、この行方市に生まれて40数年になり、その間別の地での生活もあったのですが、この行方市が忘れられず戻ってきました。行方市には家族がいる、幼なじみがいる。隣にどの誰だか、挨拶もしない隣人がいるような地での生活に我慢できなくなりしました。大物演歌歌手の歌ほどではありませんが、不便な所も確かにあります。車がなければ生活も成り立たないところもあります。この程度の田舎のレベルが住みやすいのではないのでしょうか。行方市万歳。

(40代・男性)

●私はもうすぐ還暦になります。いい時代を行方市で過ごしました。高度成長の最高の時代でした。人々も活気に満ちあふれていたと思います。今、社会は大変難しい時代になっています。行方市民が豊かに平和に暮らすため議会の皆さんの努力に期待します。多くの人々と交流していく行方市を希望します。市民のつながりをもっと強くして、小さなまちでも活力のあるまち、市民が誇りをもてるまちにしてください。

(50代・男性)

編集後記

収穫の秋を迎え、日増しに秋も深まり肌寒い季節となつてまいりました。常総市の水害から一年が過ぎ、今年も異常気象により日本各地に被害がでております。行方市でも、相次ぐ台風の上陸、長雨の影響で収穫にも被害があったようであり、改めて自然の脅威を感じるとともに、災害対策の重要性を再認識しております。また被害に遭われた方々に見舞い申し上げます。

さて、九月定例会では、主に平成27年度決算について審査し議論をつくしました。

また、今議会より議場にテレビモニターが設置され、今後はエリア放送により議会中継が家庭のテレビでも見られるようになり、さらに活発な議論が展開されることと思います。

(土子浩正)

議会だよりの
ご意見・ご感想を
お待ちしております。



広報委員会

委員長	正利 信守 一郎
委員	浩忠 正 仙一 孝太郎
副委員長	子瀬 橋内 崎部
委員	土小 高宮 藤阿
委員	〃
委員	〃
委員	〃